

ザ・シンポジウムみなとin小樽

日時 令和元年11月27日(水) 14:00～17:00

場所 小樽市市民センターマリンホール

- 小樽港の開基150周年・開港120周年を記念して、フェリー、RORO船、コンテナ船、クルーズ船など様々な船が往来する「船客万来」の小樽港が、多様な機能に効率的に対応する「機能的な港湾」として担う役割や将来像について考えるため、小樽市で「ザ・シンポジウムみなとin小樽～船客万来・小樽港が目指す機能的な港湾～」を開催し、約400名が参加しました。
- 小樽市総合博物館の石川 直章館長が「近代化を運んだ港」と題し、小樽港のこれまでの歩みを振り返りながら、港湾の近代化を運んだ小樽港の功績を紹介する基調講演を行いました。
- 小樽商科大学の李 濟民教授をコーディネーターに、迫 俊哉市長や北海商科大学の田村 亨教授、北海道港運協会小樽支部の大田 秀樹支部長、商船三井客船(株)営業グループの富田 瑞穂課長代理、小樽商工会議所女性会の小笠原 真結美副会長によるパネルディスカッションでは、小樽港が多様な機能に効率的に対応する港湾を目指して担うべき役割について、物流・観光・クルーズ振興の視点から熱心な議論をいただきました。



基調講演の様子(石川 直章 館長)



会場の様子



パネルディスカッションの様子



開会挨拶
笹島 隆彦 実行委員長



基調講演
石川 直章 館長



コーディネーター
李 濟民 教授



パネリスト
迫 俊哉 市長



パネリスト
田村 亨 教授



パネリスト
大田 秀樹 支部長



パネリスト
富田 瑞穂 課長代理



パネリスト
小笠原 真結美 副会長